

従業員向けのバリアフリー研修を開催しました

概要

開催日：令和6年12月6日金曜日
 場所：高知空港旅客ターミナルビル
 参加者：高知空港内事業者職員 29名
 共催：高知空港ビル株式会社
 協力：社会福祉法人南国市社会福祉協議会
 一般社団法人福祉住環境ネットワークこうち

まずはお困りごとをお伺い
 することが大切だよ！



体験

高齢者疑似体験

南国市社会福祉協議会さんのご指導のもと、1人ずつ高齢者疑似体験セットを装着して空港内を歩行いただきました。また、それぞれの装具がどのような状態を再現しているのかご説明いただきました。
 関節一つ一つの曲がりにくさや足が上がりにくいことなどにより、高齢の方の移動の困難さを実感いただき、今後の対応時に必要なサポートを考えていただきました。



講義

各障害の理解と必要な配慮について

福祉住環境ネットワークこうちの笹岡様より、障害があっても、高齢になっても、旅を楽しめるよう、当事者の方のニーズやコミュニケーションをとる際のツール等をご説明いただきました。そして、何よりもおもてなししたいという気持ちをもって接するのが大切だと感じました。



障害者差別解消法について

令和6年4月より事業者の皆さんも法的義務化された合理的配慮の提供など、障害者差別解消法の概要について、弊局職員より説明させていただきました。



参加者の感想

- こちらがどうするのか決めつけるのではなく、お相手が望んでいることを聞きながらお手伝いすることが大切と気づかせて頂きました。
- 人それぞれ感じられる事が違うと思いますので いつでもお声がけいただけるような姿勢が大切だと感じました。高齢者体験では、視野が狭くなると同時に社会から遮断されたような気持ちがした為、安心できる声がけや接し方が必要だと強く感じました。思い込みで助けようというのではなく、望まれる事をサポートする姿勢を忘れないようにしたいと思います。
- 私自身が障害を持っていますが、障害も千差万別、お客様対応も千差万別で大変難しいと感じていました。このことを共有できたことは非常に心強く感じました。この気持ちを部下に伝えていくこともまた難しいのですが、あきらめることなく障害のある人もない人も分け隔てなく使いやすい高知空港を目指していきます。